

「慣用句」

次の慣用句の
意味を考えよう！

相手の話に興味を
合わせて、
受け答えをする。



一度の成功が
忘れられず、
次も同じことを
期待する。

むだ話などをして
仕事をなまける。

第1問

相づちを 打つ



第2問

味をしめる



第3問

油を売る



第4問

息をのむ



びっくりしたり
感動したりして
一瞬息が止まる。



第5問

板につく



態度やしぐさ、
服装や仕事など
がよく似合う。

類義語：堂に入る・しっくりくる

第6問

腕が鳴る



腕前を見せたくて
はりきっている。

第7問

馬が合う



性格や気が合う。
意気投合する。

類義語：そりが合う

第8問

お茶を濁す



思っていることを
はっきりと
言わない。

類義語:ごまかす・
はぐらかす・取り繕う

第9問

肩を落とす



第10問

肩を並べる



がっかりして、
力が抜けて、
肩が垂れ下がる。

第11問

肩を持つ



実力や評価が
同じくらいである。

類義語:互角の・
比肩する・匹敵する

第12問

気が
置けない



味方する。
ひいきをする。

遠慮がいらぬ。
(親しくて気を遣う必要がない・打ち解けてつきあえる)

※「油断ができない」の意味で用いるのは誤り。

第13問

釘をさす



あらかじめ
念をおす

重ねて注意する

第14問

口を利く



仲を取り持つ。

第15問

(話の) 腰を折る



(話の) 途中で邪魔
をする。

類義語: 水を差す

第1問

さじを投げる



もうどうしようも
ないと諦める。

さじは、薬を調合する匙のことである。患者の治療方法が見つからず、医者（漢方医）が匙を投げ出すことから、これ以上の治療はないと見切りをつけることを「さじを投げる」と言った。

第2問

舌を巻く



あまりにも優れて
いるので、大変
驚く。

第3問

白羽の矢 が立つ



多くの中から特に
選出される。



第4問

立て板に水



よどみなく
すらすらと
しゃべる様子



第5問

手を焼く



うまく処理
できなくて困る。
てこずる。

類義語:もてあます・
扱いにくい

第6問

寝耳に水



突然思いがけな
いことを聞いて
びっくりする。

第7問

のどから
手が出る



欲しい気持ち
が非常に強いこと
のたとえ。

※「顔から火が出る」は
恥ずかしくて赤面する様子

第8問

鼻が高い



得意になっている。
誇らしい。

類義語:鼻高々

第9問

鼻につく



人の振る舞い
などがうっとうしく
感じられる。



第10問

歯に衣着せぬ



思ったことを
ずけずけと言う。

類義語: はっきりと・
単刀直入に

第11問

腹を割る



本心を
打ち明ける。

類義語: 心を開く・
打ち解ける

第12問

骨を折る



力を尽くす。
いとわないで
人の世話をする。

類義語: 身を粉にする・
粉骨砕身

第12問

耳が痛い



欠点や弱点を
指摘されて、
聞くのがつらい。

第13問

胸をおどらせる



うれしくて
心が浮きたつ。



第14問

目が高い



よいものを
見分ける能力を
持っている。



第15問

拍車をかける



一段と力を入れて、
物事の進行をより
早める。